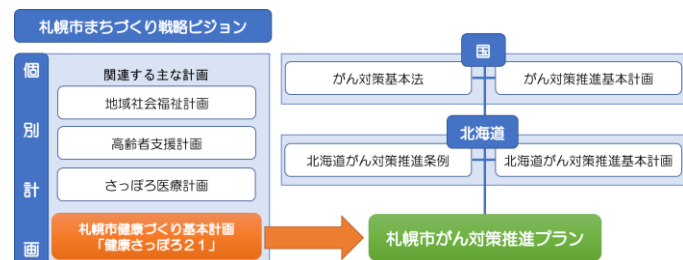


## 1 策定の趣旨と位置づけ

### (1)「第2次札幌市がん対策推進プラン」策定の趣旨

総合的ながん対策を早期に実施することにより、札幌市民の死因の第1位を占める「がん」による死亡者の減少と、がん患者及びその家族等が抱える苦痛を軽減するため、第1次札幌市がん対策推進プラン（以下、第1次プラン）を平成29年度に策定した。

令和5年度が計画最終年度であり、総合的ながん対策をさらに推進するため、第2次札幌市がん対策推進プラン（以下、本プラン）を策定する。

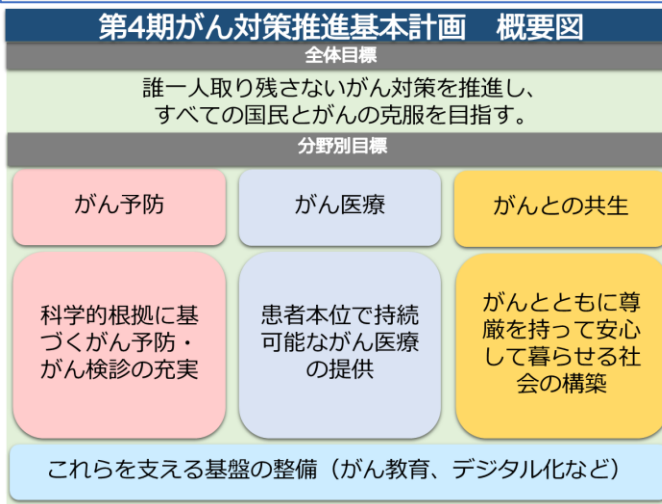


### (3)計画の位置付け

第1次プランは、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画である「健康さっぽろ21（第二次）」の実施計画として位置づけ。

本プランは、第1次プランを踏まえつつ、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」で定められたウェルネス（健康）の概念「誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会の実現」に基づいた施策を展開する。他、国、道の計画や市関連計画との整合性を図る。

### (2)国及び北海道のがん対策



本プランでは、令和5年3月に閣議決定された上図の国の計画（期間令和5年度～令和10年度）を参考に分野別目標を定める。

### (4)計画期間

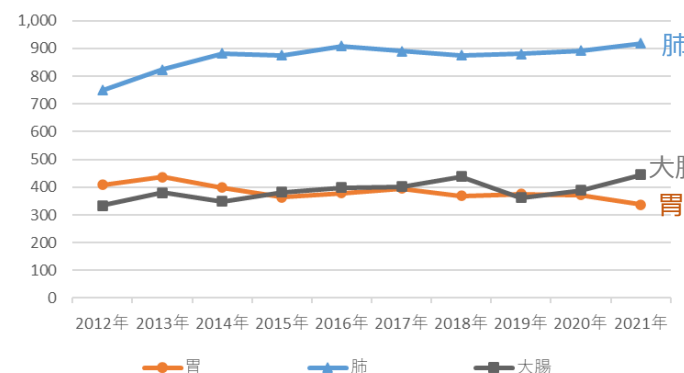
本プランの計画期間は令和6年度～令和11年度の6年間。

なお、計画の終期については、国や他関連計画との整合性も考慮して決定し、社会情勢の変化や計画の進捗状況等、必要に応じて計画期間の見直しを行う。

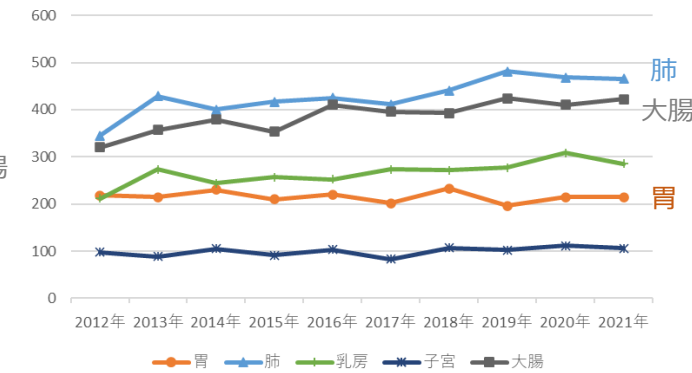
## 2 札幌市における「がん」の現況②

### ●男女とも肺がんによる死亡者数が最も多い

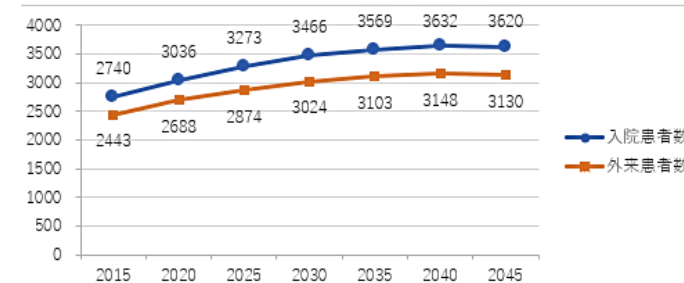
#### がんの部位別死亡数（札幌市、男性）



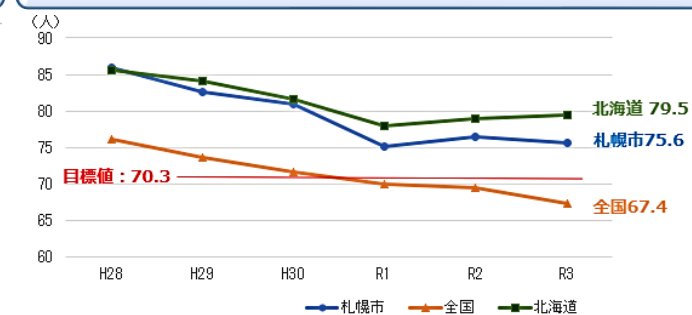
#### がんの部位別死亡数（札幌市、女性）



#### 札幌市のがん推計患者数



#### 札幌市の75歳未満のがん年齢調整死亡率推移



評価

平成28年の85.9から、各分野に基づく取り組みにより年々減少しているものの、最新の令和3年値で75.6となり、目標値の70.3に届いていない。

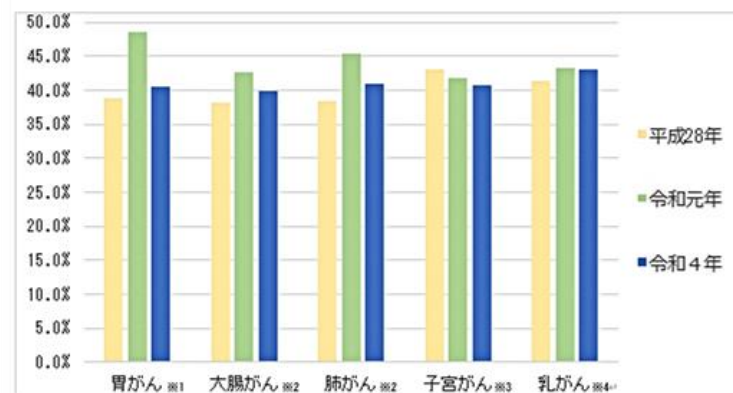
がん罹患する割合は、高齢になるほど高くなると言われており、地域別人口変化分析ツール(AJAPA4.1)18による推計では、札幌市におけるがんの患者数は入院患者数、外来患者数ともに増加する予測。

#### 札幌市のがん検診受診率

令和5年目標値	40%			50%	
検診の種類	胃がん※1	大腸がん※2	肺がん※2	子宮がん※3	乳がん※4
平成28年度	38.9%	38.2%	38.5%	43.0%	41.4%
令和元年度	48.6%	42.6%	45.5%	41.9%	43.4%
令和4年度	41.1%	40.0%	41.0%	40.7%	43.0%

令和4年度国民生活基礎調査では、令和元年度の同調査に比べ、いずれの受診率も減少している。

全国的に同様の傾向がみられ、新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられる。次回令和7年度調査の結果を注視する。



※1 平成28年度は40～69歳の男女、直近過去1年間における受診率。令和元年度以降は50～69歳の男女、直近過去2年間における受診率。

※2 40～69歳の男女、直近過去1年間における受診率。

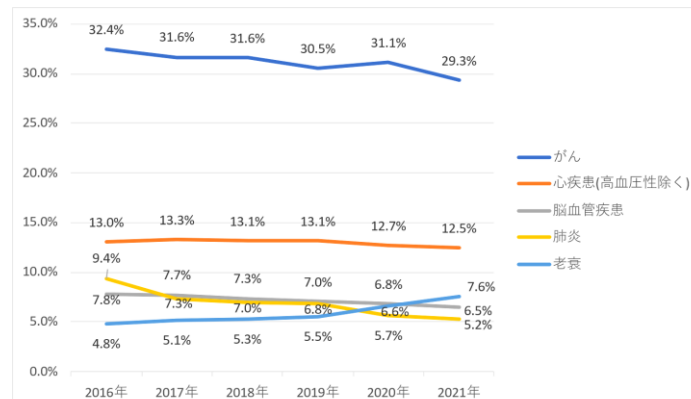
※3 20～69歳の女性、直近過去1年間における受診率。

※4 40～69歳の女性、直近過去1年間における受診率。

## 2 札幌市における「がん」の現況①

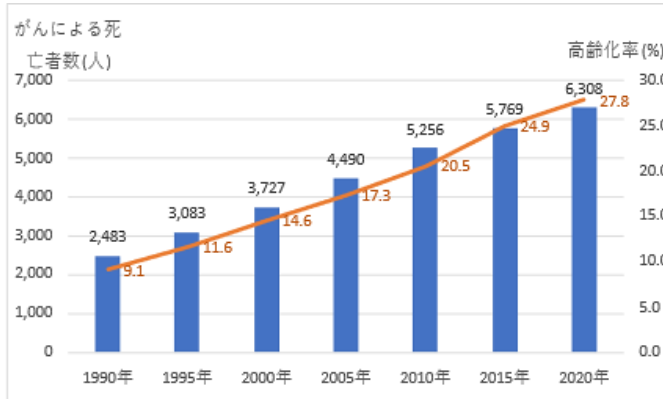
### ●市民の主要死因は「がん」が突出して1位。

#### 札幌市における主要死因別死亡割合の推移



「老衰」による死亡率の増加に伴い、「がん」が占める死亡率は緩やかな減少傾向

#### 札幌市におけるがんによる死亡者数の推移と高齢化率

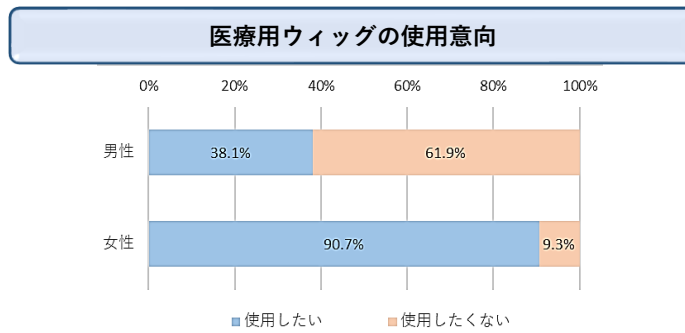
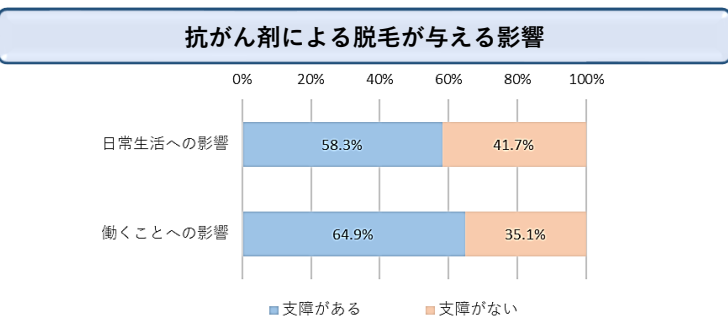
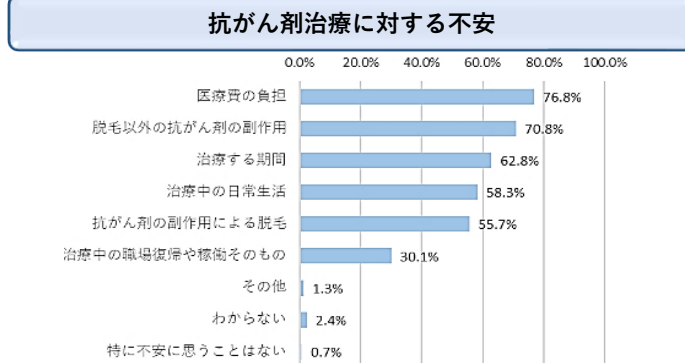
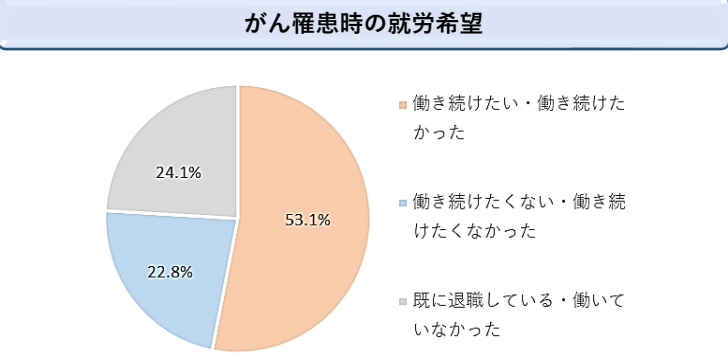
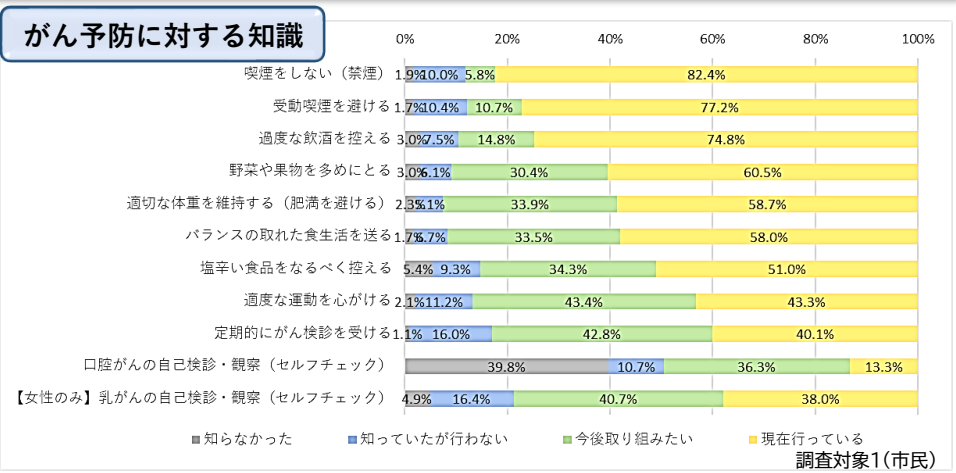


高齢化率の上昇とともに、がんによる死亡者数は増加傾向

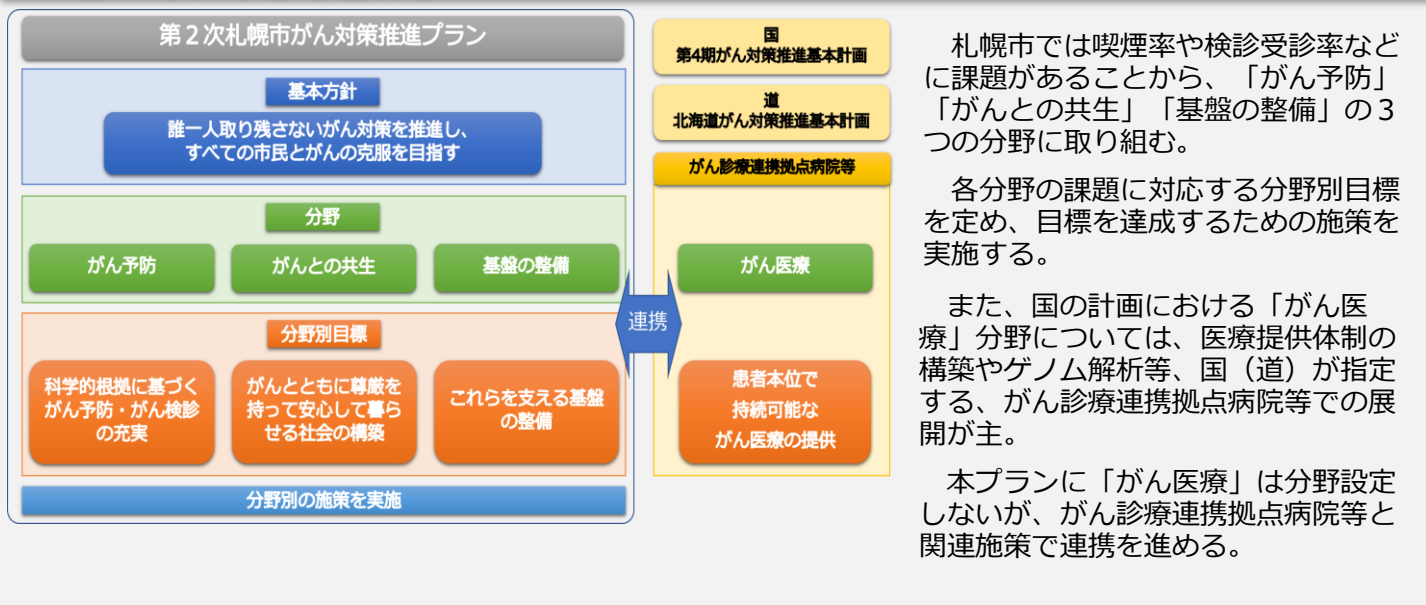
### 3 札幌市民の「がん」に対する意識

「令和4年度がんに対する市民意識調査」  
 調査対象1:札幌市がん検診対象者  
 5,000人  
 調査対象2:市内に事業所を有する  
 1,500社・団体

がん予防に関する知識は、広く認知されてきていると考えられる。  
 実際に対策を「行っている」と回答した人の割合は高い。  
 一方、『口腔がんの自己検診・観察』『乳がんの自己検診・観察』『定期的ながん検診』『適度な運動』を「現在行っている」人は5割未満。



### 4 基本方針と分野別目標



### 5 分野別施策(抜粋)

基本方針	分野	分野別目標	種別	取組	取組内容	対象	所管課
誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての市民とがんの克服を目指す	がん予防	科学的根拠に基づいたがん予防・がん検診の充実	継続	医師による問診時の禁煙アドバイス	がん検診の問診時に、医師による禁煙アドバイスを実施する。	市民	保)保健所健康企画課
			継続	食生活改善推進員の活動	地域の食生活改善活動の担い手である食のボランティアの食生活改善推進員の活動の中で、がん予防につながる、減塩や野菜・果物の摂取、適正体重について普及啓発する。	市民	保)保健所健康企画課
			継続	ウォーキングの推進	各区におけるウォーキングの普及やウォーキングマップの活用等による運動啓発を実施する。	市民	保)保健所健康企画課
			継続	札幌市子宮頸がん検診未受診者対策事業(HPV自己採取検査)	子宮がん検診受診のきっかけとすることを目的に、一定の要件を満たす方に、子宮頸がんの原因ウイルスであるHPVの感染状況を調べるHPV自己採取検査を実施する。	市民	保)保健所健康企画課
			継続	HPVワクチン定期接種	定期接種(自己負担無料)	小学校6年生から高校1年生相当の女性	保)保健所感染症総合対策課
			継続	無料クーポン券事業	国の要綱に基づき、年齢等の一定要件を満たす市民に対し子宮頸がん・乳がん検診等の無料クーポン券を送付する。	市民	保)保健所健康企画課
			継続	要精密検査受診率向上対策	一次検診を実施した医療機関と連携し、精密検査未受診者の正確な把握を行い、未受診者に対して受診勧奨等を実施する。	精密検査者	保)保健所健康企画課
			継続	母子保健事業における啓発の実施	既存の乳幼児健診等受診時に、喫煙や受動喫煙の健康への影響に関する普及啓発を行う。	子育て世帯	各区保健センター
			レベルアップ	札幌企業SDGs推進事業	SDGsに取り組む企業を認定する仕組みを創設し、併せて、インセンティブを設けることで、市内企業のSDGs達成に向けた取組を推進する。	市民・企業等	経)産業振興部 経済企画課
			新規	がん患者のウィッグ及び乳房補正具購入費用助成事業	がん治療による外見の変化を補完する、ウィッグや乳房補正具の購入費用を助成する。	がん患者	保)保健所健康企画課
がんとの共生	がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	新規	医療従事者向け自殺対策研修	がん支援に携わる医療従事者向けのゲートキーパー研修を実施する。	医療関係者	保)障がい保健福祉部精神保健センター	
		研修について、医療機関等に周知を行い、参加を促す。			保)保健所健康企画課		
		レベルアップ	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業	幼少期から慢性的な疾病に罹患していることにより自立に困難を伴う小児慢性特定疾病児童等に対し、相談体制の強化を図るとともに、ニーズに応じた各種事業を実施する。	小児がん患者等	保)保健所健康企画課	
		レベルアップ	がん教育推進支援	札幌市立教育機関へ、札幌市内のがん拠点病院等に所属する医師や看護師等の医療従事者または北海道がん患者連絡会に加入する団体などのがん経験者を外部講師として派遣する。	児童・生徒・学生等	保)保健所健康企画課	
		継続	がん対策に関する普及啓発	関係機関と連携し、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について、様々な媒体を利用した普及啓発を実施する。	市民	保)保健所健康企画課	
		新規	がん検診Web及びコールセンター予約システムの導入	集団検診受診の際にwebやコールセンターによる予約方法を設ける等、がん検診を受診しやすくなるよう環境整備を行う。(令和8年度中開始予定)	市民	保)保健所健康企画課	

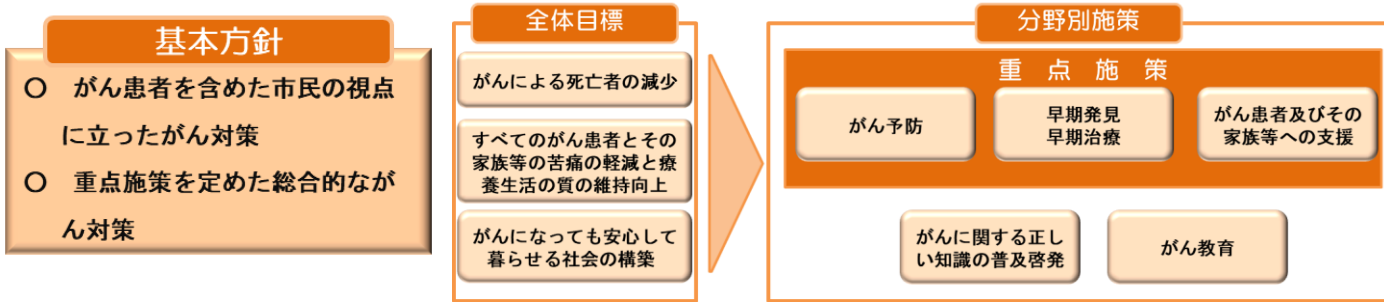
### 6 計画の推進

- 関係者等との連携協力
  - 目標達成状況の把握
  - 他の計画との関係
- 参考資料
- 具体的な取組一覧
  - 計画策定にかかる検討経過
  - がん対策に関するアンケート調査の概要
  - パブリックコメント手続き





## ■ 計画期間 2017年～2023年（平成29年度～令和5年度）



### 1：がん予防

- 【主な取組】
- ・40歳（代）を対象とした胃がんリスク判定(ピロリ菌検査)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
574人受診	2,135人受診	2,263人受診	456人受診	478人受診

※平成30年度～令和2年度は40歳代の偶数年齢が対象。令和3年度以降は40歳のみが対象

- ・HPVワクチン定期接種

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
78件	159件	406件	1,594件	4,884件	11,343件

【指標】（「健康さっぽろ21（第二次）」の指標）

指標	当初値	現状値 令和4年度	目標値 令和5年度
20歳以上の喫煙率	20.5%（平成24年）	18.2%	10.0%
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭	-	3.0%
	職場	-	14.8%
	飲食店	-	18.9%
	行政機関 医療機関	-	3.2%
20歳未満の喫煙率	1.7%（平成24年）	1.3%	0.0%
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	男性	-	13.0%
	女性	-	6.4%
食塩の1日あたり平均摂取量	9.5g（平成23年）	9.3g	8.0g

- 【評価と分析】
- ・感染に起因するがん対策として、胃がんリスク判定(ピロリ菌検査)を新規で実施し、8割以上の市民が検査を希望するなど、がん予防の必要性を理解するきっかけとなった。

### 2：早期発見・早期治療

- 【主な取組】
- ・無料クーポン券事業
  - ・要精密検査受診率向上対策

- 【評価と分析】
- ・胃がん、大腸がん、肺がん検診→**目標値達成**
  - ・乳がん、子宮がん検診→目標値未達成
  - ・関連する取組の見直しやさらなる推進が必要。
  - ・令和2年度より、精密検査受診率向上対策を実施。受診控えなど新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったと推測される時期からの開始であったことから、今後の成果を注視しつつ、引き続き取組を実施していく。

【指標】

指標	当初値 平成25年度	現状値 令和2年度	目標値 令和5年度	
がん検診受診率	胃がん検診	-	40%	
	肺がん検診	-	40%	
	大腸がん検診	-	41%	
	子宮がん検診	-	40%	
	乳がん検診	-	43%	
精密検査受診率	胃がん検診	58.6%	44.6%	100%
	肺がん検診	85.2%	69.6%	
	大腸がん検診	45.2%	48.2%	
	子宮がん検診	15.6%	54.1%	
	乳がん検診	75.3%	72.1%	

### 3：がん患者及びその家族等への支援

- 【主な取組】
- ・事業所等との連携による総合的ながん対策の推進

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定企業数16社（累計）	認定企業数30社（累計）	認定企業数48社（累計）	認定企業数55社（累計）	認定企業数57社（累計）
事業所と連携し、健康経営及びがん対策認定企業に関するセミナーを年2回開催				

- ・働く世代のがん患者への支援事業

【指標】

指標	当初値 平成27年度	現状値 令和4年度	目標値 令和5年度
仕事とがん治療の両立ができる職場づくりに取り組む事業所の割合	5.7%	10.3%	14.0%

【評価と分析】

- ・事業所等との連携による総合的ながん対策の推進により、指標として設定していた「仕事とがん治療の両立ができる職場づくりに取り組む事業所の割合」は、目標値である14.0%に達しなかったものの、当初現状値の5.7%から10.3%に増加。

### 4：がんに関する正しい知識の啓発

- 【主な取組】
- ・札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

- 平成29年度～令和4年度
- ・子どものためのがんのガイドブックの作成、配布
  - ・小中学生向けがん予防につながる標語の募集及び優秀作品、歴代の受賞作品の展示、表彰式の実施
  - ・事業所のたばこ対策をまとめたリーフレットの作成及び配布
  - ・地下鉄駅及び札幌市内小中学校掲示版へのポスター掲載
  - ・テレビ、ラジオ、SNSによる周知啓発、広告の実施
  - ・パネル展やがんサバイバーによるトークショーの開催

【評価と分析】

- ・実行委員会形式による普及啓発の実施や市立教育機関へ医師やがん経験者等の外部講師を派遣する取り組みを新規で実施し、効果的な普及啓発及びがん教育の推進ができたことから、引き続き関連する取組を実施する。

### 5：がん教育

- 【主な取組】
- ・がん教育推進支援

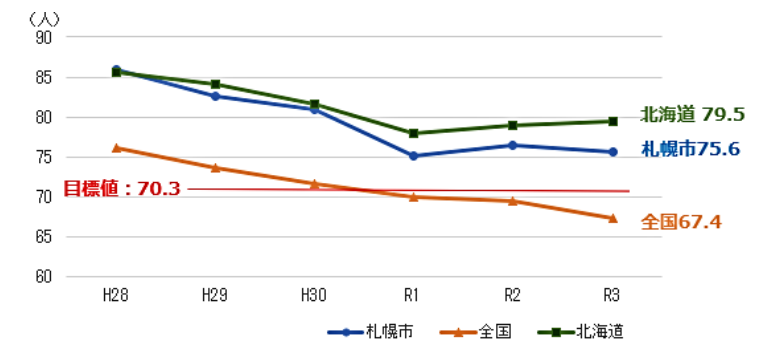
- 平成30年度～令和4年度
- ・がん経験者の語り手が市内の小中学校で自身の経験を語りながら授業を実施
  - ・札幌市内の小・中・高・特別支援学校に所属する教職員向けにがん教育に関する研修を開催
  - ・医療従事者及びがん経験者を市内の小中学校へ派遣

### 6：その他

【評価と分析】

- ・「75歳未満がん年齢調整死亡率」は、平成23年の92.6から、各分野別施策に基づく取り組みにより年々減少しているものの、令和5年目標値の70.3未達成。

- ・国の第4期計画では、「75歳未満がん年齢調整死亡率」について数値目標の設定がなされていないことから、本プランにおいても目標の値は設定せずに、「75歳未満がん年齢調整死亡率の減少」を目標とする。



# 第2次札幌市がん対策推進プランの指標一覧

番号	指標名	現状値	時点	目標値 (R11)	備考
1	75歳未満がん年齢調整死亡率	75.6	R3	現状値より減少	第1次プランから引き続き指標に設定。 国計画において具体的な数値目標の設定はなく、具体的な数値設定なし。
2	がん検診受診率（胃がん）	男性 51.3%	R4	60%	第1次プランから引き続き指標に設定。国計画に基づき目標値設定（国計画目標値：60%） なお、国が男女別の受診率にて目標達成状況の評価を実施したことから、本プランにおいて男女別の受診率を指標に設定する。
		女性 32.6%	R4		
	がん検診受診率（肺がん）	男性 48.4%	R4		
		女性 34.9%	R4		
	がん検診受診率（大腸がん）	男性 46.1%	R4		
		女性 34.9%	R4		
がん検診受診率（子宮がん）	女性 40.7%	R4			
がん検診受診率（乳がん）	女性 43.0%	R4			
3	精密検査受診率（胃がん）	44.6%	R2	90%	第1次プランから引き続き指標に設定。国計画に基づき目標値設定（国計画目標値：90%）
	精密検査受診率（肺がん）	69.6%	R2		
	精密検査受診率（大腸がん）	48.2%	R2		
	精密検査受診率（子宮がん）	54.1%	R2		
	精密検査受診率（乳がん）	72.1%	R2		
4	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	-	-	70.5%	市民からのニーズが大きいウィッグ等の購入費用助成事業を基に、分野別目標である「がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」を客観的に把握できる指標として必要であると判断したため設定する。【AP事業目標。助成後アンケート調査】
5	北海道がん対策サポート企業等登録制度に登録している企業等のうち、札幌市内の企業等の登録数	721件	R5	現状値より増加	事業所等におけるがん対策を把握できる指標として設定。 現在北海道が策定中の第4期北海道がん対策推進計画との整合性を図るため、数値について変動する可能性あり。
6	がん検診WEB及びコールセンター予約システムの供用開始	-	-	供用開始	目標値達成は令和8年度を予定。
7	20歳以上の喫煙率	18.2%	R4	10.0%	第1次プランから引き続き指標に設定。 健康さっぽろ21に準拠。R7年の改定で数値更新された場合は見直しを予定。
8	受動喫煙の機会を有する人の割合（家庭）	11.5%	R4	3.0%	
	受動喫煙の機会を有する人の割合（職場）	14.8%	R4	受動喫煙のない職場の実現	
	受動喫煙の機会を有する人の割合（飲食店）	18.9%	R4	15.0%	
	受動喫煙の機会を有する人の割合（行政機関）	1.3%	R4	0.0%	
	受動喫煙の機会を有する人の割合（医療機関）	3.2%	R4	0.0%	
9	20歳未満の喫煙率	1.3%	R4	0.0%	
10	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	男性 19.1%	R4	13.0%	
		女性 12.1%	R4	6.4%	
11	食塩の1日あたり平均摂取量	9.3g	R4	8.0g	
12	野菜の1日あたり平均摂取量	284g	R4	350g	
13	果物の1日あたり平均摂取量が100g未満の人の割合	55.0%	R4	30.0%	
14	運動習慣のある人の割合	男性 33.0%	R4	38.0%	食生活、運動、適正体重などが、がん予防、がんを含む死亡リスクの低下に効果があると示されているため本プランにおいて新たに指標を設定する。 健康さっぽろ21に準拠。R7年の改定で数値更新された場合は見直しを予定。
		女性 29.3%	R4		
15	20～60歳代男性の肥満者の割合	35.8%	R4	23.0%	
16	40～60歳代女性の肥満者の割合	17.0%	R4	14.0%	